

年間を通して主体的に学び続けることができるように

これまでのテストの方法が変わります

これまでのテストの方法（～R5）

【1学期】

- 期末テスト（6月下旬：1学期全範囲）
- 実力テスト（7月上旬：1, 2年生）
（6月1回：3年生）



これからのテストの方法（R6～）

【1学期】

- ◎**単元テスト**（単元終了時：5教科各4～6回）
- 実力テスト（7月上旬：1, 2年生）
（6月1回：3年生）
- ※第1回三者面談（7～8月）



【2学期】

- 中間テスト（9月下旬：2学期前範囲）
- 期末テスト（11月中旬：2学期後範囲）
- 実力テスト（12月上旬：1, 2年生）
（8月～12月4回：3年生）
- ※三者面談（12月上旬）

【2学期】

- ◎**単元テスト**（単元終了時：5教科各4～6回）
- 実力テスト（12月上旬：1, 2年生）
（8月～12月4回：3年生）
- ※第2回三者面談（12月上旬）



【3学期】

- 学年末（2月中旬：3学期全範囲：1, 2年生）
テスト（1月下旬：3学期全範囲：3年生）
- 実力テスト（3月上旬：1, 2年生）
（1月～2月2回：3年生）

【3学期】

- ◎**単元テスト**（単元終了時：5教科各2～3回）
- 実力テスト（3月上旬：1, 2年生）
（1月～2月2回：3年生）

これからのテストの方法のポイント



- 年間を通して主体的に学び続ける（学習意欲を保ち続ける）ことができるようにするために、**単元終了後ごとに単元テスト**を実施します。
- 単元テストに向けた**スケジュール管理**ができるように、単元テストの実施日をホームページで知らせ、**自己マネジメント力**の育成を目指します。
- 単元テストは**5教科**を中心に**学期に4～6回**行い、これまでの年4回の定期テストの代わりに実施します。
- 標準的な単元テストの問題を通して、**分からないことをチェックし、分かるようにすることを学習の基本**とします。
- 記述問題**については、**読解力向上**の観点から、自己採点を通して「**同義文判定**」の力を高めます。
※「同義文判定」とは解答したものが模範解答と同義の内容を書いているかどうかを判定し、論理的に説明できること。
- 学年の全ての学級が単元テストを終了した後に、教科担任が採点確認した単元テストを返却します。
- 単元テストのプリントは、各教科ファイルごとに綴じて保管し、**実力テストや高校入試対策**として**繰り返し**活用します。
- 教科書をフル活用**し、単元テストを目標とした**主体的に学ぼうとする学習の仕組み**に変えていくことが目的です。**学習の仕方**は「**相馬市小・中学校家庭学習の手引き**」をもとに教育相談、三者面談等でアドバイスしていきます。